

| | |
|-----------|---|
| 地域名 | 糸満市 |
| 事業主体 | 糸満市商工会 |
| 参画団体 | <p>【公的機関】 糸満市、糸満市商工会</p> <p>【民間企業等】 ボーボー屋かまぼこ、(有)糸満かまぼこ、西南門小カマボコ屋、市内外商工業者</p> <p>【経済団体】 沖縄県蒲鉾水産加工業協同組合、糸満漁業協同組合、 沖縄県農業協同組合糸満支店</p> |
| 活用する地域資源 | <p>【現在活用を推進している地域資源】 かまぼこ</p> <p>【地域資源の特徴】 沖縄のかまぼこは、本土のかまぼことは製法など基本的に違いが大きい。本土のかまぼこは板がついているのが一般的で、製法も水のばしをしているため、ほとんど魚本来のすり身の味がしないが、沖縄かまぼこは、魚のすり身の含有量が多く味が深い。 糸満市は沖縄県のかまぼこ発祥の地であり、糸満のかまぼこ（揚げかまぼこ）がさつま揚げのルーツであると言われている。</p> <p>沖縄のかまぼこは、海人（うみんちゅ：漁師）が各家庭で魚をおろして、揚げたてのものを食していた「伝統料理」であり、今なお、零細ではあるが、糸満市内に 10 社を超える製造業者が操業し、頑張っている。</p> <p>【今後活用を推進したい地域資源】 ・糸満市西崎に建設予定の道の駅、物産館施設</p> |
| これまでの活動内容 | <p>平成 16 年の糸満市中心市街地活性化基本計画の中で、「糸満ブランドづくり事業」がスタート。糸満市は、農産物（ゴーヤー、ニンジン、ドラゴンフルーツ等）の生産地としてのみならず、昔から「イチマンチュ（糸満の人）＝海人（ウミンチュ）」というように漁業の街として知られており、「糸満ブランドづくり事業」では、最初の商品にブランドを形成する上で、ストーリーの作りやすいかまぼこ（海人が作ったかまぼこ。沖縄のかまぼこ発祥の地など）を対象商品に設定した。</p> <p>平成 16 年度の事業では、「糸満のかまぼこを食卓へ！」というスローガンを掲げ、市内での認知向上・消費拡大を目的に「糸満海人かまぼこフェア」（かまぼこの試食会・PR 等）を開き、その後も継続して「かまぼこフェア」を開催している。</p> |

| | |
|-------------------|---|
| | <p>平成 17 年度から 18 年度にかけては、「むらおこし等地域活性化事業」として、かまぼこに関する調査を行うとともに「糸満海人かまぼこフェア」と市民参加の「カマボコ料理コンテスト」を開催し、市内外への P R を実施した。</p> <p>平成 19 年度は、全国商工会連合会が実施する「小規模事業者新事業全国展開支援事業」の採択を受け、「糸満海人かまぼこブランド事業」として「海人」の商標を取得するとともに、高級ギフト商品開発へと乗り出した。</p> <div data-bbox="1085 380 1484 548" data-label="Image"> </div> <p>(糸満海人蒲鉾 詰め合わせギフト)</p> <p>平成 20 年度は「糸満海人かまぼこフェア」を 2 日間に渡り開催した。</p> |
| <p>今後の課題や活動計画</p> | <p>引き続き、「沖縄かまぼこ発祥の地」糸満市の特産品としての確立に向けて、かまぼこの販路拡大の為の協力・支援等を行う。</p> |
| <p>行政の支援</p> | <p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 19 年度全国商工会連合会「小規模事業者新事業全国展開支援事業」(助成額：745 万円) <p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 17 年度「むらおこし等地域活性化事業」(助成額：350 万円) |
| <p>その他</p> | <p>糸満海人蒲鉾ホームページ (糸満市商工会 H P 内)</p> <p>http://itoman.or.jp/kamaboko/index.html</p> <div data-bbox="1260 1299 1500 1848" data-label="Image"> </div> |
| <p>連絡先等</p> | <p>糸満市商工会 沖縄県糸満市字糸満 2075 番地 電話番号：098-992-2816 FAX 番号：098-992-3544 ホームページ：http://www.itoman.or.jp/</p> |